

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

自分の周りの価値を再認識

▼第4回おしどり学園



▲「ただ気付いていないだけで大切なものがある」と杉本さん

8月23日、第4回おしどり学園を開きました。

今回の一般教養講座は、「あなたは日野町無形民俗文化財保持者です」と題し、町文化財保存活用地域計画推進員の杉本準一さんが講演を行いました。

杉本さんは、過去2回公民館に勤務し、鳥取県西部地震の際は、被災した家々から搬出（レスキュー）された古い物品を公民館の講堂に一時収容して整理した経験があります。また平成24年に「奥日野ガイド倶楽部」を設立し、奥日野地域を中心にまち歩きガイドの活動を開始。昨年11月から、町文化財保存活用地域計画

推進員に就任しました。

まち歩きガイドについて、関西方面などからの来町者に『よう来てごしなつたなあ。だんだん』とあいさつします。よそから来る人は方言で話しかけてもらうことをたいへん喜ばれます。

『こちらからお越しになりましたか』という標準語よりも、地元の言葉の弁での声掛けで、本当に日野にきたという実感が生まれます。大阪から来た人が、根雨のまちなかを流れる水路を見て感動していました。『こんなきれいな水が流れている中で人が住んでいることが信じられない』私たちには普通であることが、都会では考えられないことなのです』と話しました。

また、「文化財とは、長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた古い建物や美術品、技術（ワザ）、生活そのものや習わしなどをいいます。これらは郷土愛をめぐみ、私たちの暮らしに潤いや心を豊かにしてくれるものであり、これを未来に確実に渡していくことが今の世代に求められています」との話の後に、クイズ形式で町内の13ある指定・登録文化財を紹介し、文化財の4つの分類「有形文化財」「無形文化財」「民俗文化財」「記念物」の定義を説明されました。

学園生は、普段の暮らしの中でも意識せず見聞きしていることも、未来では文化財となることを理解し、後世に残し伝えていくことの大切さを学んだ講演会となりました。

次回おしどり学園のご案内

日時 10月18日（金）午前9時30分

場所 町公民館 講堂

講演 演題「楽しく歳をとるには一緒に考えよう
あなたの処方箋」

講師 鳥取大学医学部地域医療学講座医師 李瑛さん

【問合せ・申込み】町公民館（74-0212）

「夏の自然を楽しもう！」

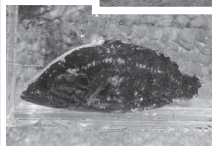
学社連携事業

▼夏休み子ども教室「自然教室」

7月26日に板井原川（根雨）で、8月21日にはカワコ公園（黒坂）を会場に、「夏休み子ども教室～自然教室～」が開催されました。

昨年度に増しての猛暑となりましたが、暑さ対策をしっかりとしながら観察会を実施しました。はじめは魚や水生昆虫の探し方が分からなかった児童も、次第に慣れ、網の扱い方も上手になりました。魚とり名人もいて、次々と魚や水生昆虫の仲間を捕えていました。体長10cmもある「カワヨシノボリ」や「オヤニラミ」「ドンコ」などの魚類、「サワガニ」「カジカガエル」など、さまざまな生き物を見つけていました。「カジカガエル」は、川に卵を産みに来る珍しいカエルで、美しい鳴き声でも有名です。

子ども達は2日間を通じて、普段あまり見ることのできない生き物にも出会うことができ、日野町の夏の自然を満喫することができました。



◀特大サイズの「オヤニラミ」



日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動してるの？地域とのつながりを大切にして
いる日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！

Vol.46

8/10
(土)

自分たちで協力し、育て、加工し、販売！ 日野高ショップ根雨店

「総合実践」の授業の一環として、毎回好評の「日野高ショップ根雨店」を山村開発センターで開催しました。

日野高ショップとは、アグリライフ（農業）系列の生徒が育てた野菜、加工したケチャップ・ジャム・味噌を商品として、情報ビジネス（商業）系列の生徒が販売実習を行うことです。

今年度は、第1回を7月6日、第2回を8月10日に行い、地域のみなさんのおかげで大盛況でした。

第3回以降は日野町外（日吉津・米子）で開催する予定です。



来てくださった
地元の人に実際に
接客・販売！



まなびや縁側は、日野郡3町が連携して
設立・運営する公設塾です。



【まなびや縁側日野拠点】
場所：山村開発センター1階
電話：080-1338-0743
Mail：hino.engawa@gmail.com

Facebook をCHECK!

日野郡 U-29 交流会

8月16日、山村開発センターで、日野郡ふるさと教育推進協議会の公設塾まなびや縁側主催で、お盆の帰省シーズンに合わせ、若者世代を中心にふるさと日野郡の価値や魅力を再確認してもらう「日野郡 U-29 交流会」を開催しました。

若者世代の視点を生かし、地域課題に対応した新政策を立案・実行する鳥取県庁の若手職員で構成される鳥取県庁未来創造タスクフォースの協力のもと、鳥取県や地元で働くことの実態などをテーマにトークセッションを行い、その後は、郷土料理じゃぶ汁を楽しみながら交流しました。まなびや縁側の卒業生を中心に町内外から13人が参加し、日野郡について考える時間となりました。



◀◀トークセッションと参加者同士の交流

▲郷土料理じゃぶ汁